

2008年04月単価

新漕第1処理分区

2 0 0 8 年 度

広島県福山市草戸町一丁目、二丁目及び三丁目地内 地 内

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)実施設計書

路線名: 鷹取本庄線

L= 578.42 m
W= 3.00~5.35 m
A= 646 m²

工 事 概 要	工事延長	580.250 m		
	管渠工(開削)管径500mm	578.420 m	付帯工	1 式
	管渠工(開削)管径200mm	1.830 m		
	空気弁設置工	6 箇所		
	偏心構造弁設置工(φ500mm)	1 箇所		
	仕切弁設置工(φ200mm)	1 箇所		
	取付管復旧工	3 箇所		

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
管路(都市計画下水道建設費)							
管渠工(開削)							
管径200・500mm							
管路土工							
管路掘削							
	機械床掘	バックホウ山積0.28m ³	990	m ³			S4002-3
管路埋戻							
	埋戻工	バックホウ山積0.28m ³	840	m ³			S4025-2
	(仮置場) 機械積込	バックホウ山積0.80m ³ 障害無, 普通土	930	m ³			S0040-7
	(仮置場→現場) 発生土運搬工	バックホウ山積0.8m ³ 4tDT, L≤1.0km	930	m ³			DID区間あり S0108-1D-3
発生土処理							
	(現場→仮置場) 発生土運搬工	バックホウ山積0.28m ³ 4tDT, L≤1.0km	990	m ³			DID区間あり S0108-3A-2
	(仮置場) 機械積込	バックホウ山積0.80m ³ 障害無, 普通土	250	m ³			S0040-7
	(仮置場→処分地) 発生土運搬工	バックホウ山積0.8m ³ 10tDT, L≤12.5km	250	m ³			DID区間あり S0108-1A-13
	発生土受入費	再資源化施設	250	m ³			
管布設工(φ500mm)							
鋳鉄管							
	下水道用ダクタイル鋳鉄管	本管 φ500mm 内面エポキシ粉体塗装	1	式			単価第 1号
	鋳鉄管布設工	吊込み据付(機械力) φ500mm	581.920	m			単価第 3号
	鋳鉄管切断工(S形・KF形)	切断・溝切り2工程 パイプ切削・切断機・φ500mm	14	口			単価第 6号

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	S継手挿口加工	φ500mm・リベット式	11	口			単価第 8号
	ポリエチレンスリーブ被覆工	φ500mm	581.920	m			単価第 9号
	管明示テープ工	胴巻き4箇所/本・1回半巻き φ500mm・天端明示有り	581.920	m			単価第 11号
継手類							
	下水道用ダクタイル鋳鉄管異形管	本管φ500mm 内面エポキシ粉体塗装	1	式			単価第 13号
	ダクタイル鋳鉄管接合材料	本管 φ500mm	1	式			単価第 15号
	メニカル継手工	S形・KF形 φ500mm	136	口			単価第 17号
	メニカル継手工	特殊押輪 K形 φ500mm	1	口			単価第 19号
	メニカル継手工	栓 K形 φ500mm	2	口			単価第 21号
	フランジ継手工	7.5K φ75mm	5	口			単価第 22号
	フランジ継手工	7.5K φ500mm	2	口			単価第 23号
弁類							
	空気弁設置工	下水道用空気弁 φ75mm	6	基			単価第 25号
	鋳鉄製仕切弁設置工(機械力)	下水道用偏心構造弁 手動式 φ500mm	1	基			単価第 26号
弁ます類							
	空気弁室設置工	空気弁(φ75mm) 内径φ900mm	6	箇所			単価第 28号
	仕切弁室設置工	偏心構造弁(φ500mm) 内径φ900mm	1	箇所			単価第 29号
埋設標識テープ							
	管明示シート工	2列表示 本管φ200・500mm	578.420	m			単価第 33号

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
管布設工(φ200mm)							
鋳鉄管							
	下水道用ダクタイル鋳鉄管	泥吐管 φ200mm モルタルライニング	1	式			単価第 2号
	鋳鉄管布設工	吊込み据付(機械力) φ200mm	2.97	m			単価第 4号
	鋳鉄管切断工(T形)	切断 パイプ切削・切断機・φ200mm	1	口			単価第 7号
	ホリエチレンスリーブ被覆工	φ200mm	1.9	m			単価第 10号
	管明示テープ工	胴巻き4箇所/本・1回半巻き φ200mm・天端明示有り	1.9	m			単価第 12号
継手類							
	下水道用ダクタイル鋳鉄管異形管	泥吐管 φ200mm 内面エポキシ粉体塗装	1	式			単価第 14号
	ダクタイル鋳鉄管接合材料	泥吐管 φ200mm	1	式			単価第 16号
	メカニカル継手工	SⅡ形 φ200mm	1	口			単価第 18号
	メカニカル継手工	T形 離脱防止継手 φ200mm	2	口			単価第 20号
	フランジ継手工	7.5K φ200mm	2	口			単価第 24号
マンホール接続							
	既設マンホール削孔	削孔径φ410	1	箇所			
	無収縮モルタル		0.02	m ³			
	Co塊処分	バックウ山積0.28m ³ 4tDT, L≤12.0km	0.03	m ³			DID区間あり 単価第 5号
弁類							
	鋳鉄製仕切弁設置工(機械力)	泥吐管 φ200mm 外ねじ式内外面粉体塗装	1	基			単価第 27号

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
弁ます類							
	仕切弁室設置工	外ねじ式 仕切弁 円形φ350mm(2号)	1	箇所			単価第 30号
埋設標識テープ							
	管明示シート工	2列表示 本管φ200・500mm	2.9	m			単価第 33号
管路土留工 管径200・500mm							
軽量鋼矢板土留							
	軽量鋼矢板建込工	バックホウ山積0.28m ³ 矢板長2.00m	565.600	m			D-33-1-2-2
	軽量鋼矢板建込工	バックホウ山積0.28m ³ 矢板長2.50m	11.720	m			D-33-1-3-2
	軽量鋼矢板建込工	バックホウ山積0.28m ³ 矢板長3.00m	2.930	m			D-33-1-4-1
	軽量鋼矢板賃料		1	式			別表1
	土留支保工	バックホウ山積0.28m ³ H150×100×1	565.600	m			単価第 35号
	土留支保工	バックホウ山積0.28m ³ H175×100×2	14.65	m			単価第 36号
	土留支保賃料		1	式			別表2
開削水替工							
開削水替							
	水替ポンプ運転	発動発電機 50mm, 作業時排水		日			D-42-1-3
	水替ポンプ据付・撤去	口径50mm	1	現場			D-42-2-1
付帯工 管径200・500mm							
舗装撤去工							

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断							
	As舗装版切断	t=20cmまで	1160	m			S0174-1
舗装版破碎							
	舗装版掘削積込 (仮復旧)	バックホウ山積0.28m ³ 舗装厚≤10cm	1620	m ³			S0171-2
	舗装版掘削積込	バックホウ山積0.28m ³ 舗装厚≤10cm	328	m ³			S0171-2
殻運搬処理							
	As塊運搬工	バックホウ山積0.28m ³ 4tDT, L≤17.0km	123	m ³			DID区間あり S0108-3B-12
	As塊受入費	再資源化施設	246	t			
路面切削							
	路面切削工(A)	全面切削 平均切削深 6cm以下	1390	m ²			段差すりつけ設置撤去 S2310-2
殻運搬処理							
	As塊運搬工	切削(A)用 10tDT, L≤14.5km	69	m ³			DID区間あり S0108-7B-20
	As塊受入費	再資源化施設	150	t			
管路土工							
管路掘削							
	機械床掘	バックホウ山積0.28m ³ 障害無, 普通土	190	m ³			S0040-2
発生土処理							
	(現場→仮置場) 発生土運搬工	バックホウ山積0.28m ³ 4tDT, L≤1.0km	190	m ³			DID区間あり S0108-3D-2
舗装復旧工							

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤							
	路盤工	RC-40, 仕上厚15cm	648	m ²			歩道又は施工幅の狭い車道, RC-40同等品以上 S2020-6
	路盤工	RC-30, 仕上厚10cm	215	m ²			歩道又は施工幅の狭い車道, RC-30同等品以上 S2020-4
上層路盤							
	路盤工	Ms-25, 仕上厚10cm	975	m ²			歩道又は施工幅の狭い車道, Ms-25同等品以上 S2020-2
	路盤工	RC-30, 仕上厚10cm	3	m ²			歩道又は施工幅の狭い車道, RC-30同等品以上 S2020-4
基層							
	基層工 (プライムコート)	1.4m ≤ 施工幅 ≤ 3.0m 仕上厚5cm	646	m ²			(再生合材, 粗粒) S2031-5
表層							
	排水性アスファルト舗装工	車道及び路肩 2.4m < 施工幅	1390	m ²			導水パイプの設置有り 単価第 38号
	排水用導水管	樹脂製 内径φ20mm	390	m			218.03+171.92=389.95
	表層工 (プライムコート)	3.0 < 施工幅 仕上厚5cm	973	m ²			(再生合材, 密粒20mm) S2032-6
	舗装仮復旧工	再生粗粒度As 仕上厚5cm	648	m ²			(再生合材) 単価第 37号
	舗装仮復旧工	仕上厚3cm	328	m ²			(再生合材, 密粒13mm) S2032

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
管路(下水道整備費)							
管渠工(開削)							
管径200・500mm							
管布設工							
鑄鉄管							
	下水道用						
	ダクタイル鑄鉄管異形管及び接合材料	仮管 φ500mm	1	式			単価第 44号
弁ます類							
	空気弁室防食塗装工	空気弁室φ900mm C種・セラミック・塗布厚3.0mm	1	式			単価第 42号
取付管及びます工							
管路土工							
管路掘削							
	機械床掘	バックホウ山積0.28m ³	9	m ³			S4002-3
管路埋戻							
	埋戻工	バックホウ山積0.28m ³	8	m ³			S4025-2
	(仮置場)	バックホウ山積0.80m ³					
	機械積込	障害無, 普通土	9	m ³			S0040-7
	(仮置場→現場)	バックホウ山積0.8m ³					
	発生土運搬工	10tDT, L≤1.0km	9	m ³			DID区間あり S0108-1D-3
発生土処理							
	(現場→仮置場)	バックホウ山積0.28m ³					
	発生土運搬工	4tDT, L≤1.0km	9	m ³			DID区間あり S0108-3A-2
	(仮置場)	バックホウ山積0.80m ³					
	機械積込	障害無, 普通土	1	m ³			S0040-7
	(仮置場→処分地)	バックホウ山積0.8m ³					
	発生土運搬工	10tDT, L≤12.5km	1	m ³			DID区間あり S0108-1A-13

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	発生土受入費	再資源化施設	1	m ³			
取付管布設工							
取付管							
	取付管布設工 及び支管取付工	3m未満 取付管径150, 本管HP	3	箇所			施工規模5箇所未満 D-89-2-1-9
管路土留工							
軽量鋼矢板土留							
	軽量鋼矢板建込工	バックホウ山積0.28m ³ 矢板長2.00m	9.000	m			D-33-1-2-2
	土留支保工	バックホウ山積0.28m ³ H-125×100×1	9.000	m			D-33-9-2
付帯工							
舗装撤去工							
舗装版切断							
	As舗装版切断	t=20cmまで	32	m			S0174-1
舗装版破碎							
	(仮復旧) 舗装版掘削積込	バックホウ山積0.28m ³ 舗装厚≤10cm	9	m ²			S0171-2
殻運搬処理							
	(仮復旧) As塊運搬工	バックホウ山積0.28m ³ 4tDT, L≤12.0km	0.3	m ³			DID区間あり S0108-3B-11
	(仮復旧) As塊受入費	再資源化施設	0.3	m ³			
管路土工							
管路掘削							

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	機械床掘	バックホウ山積0.28m ³ 障害無, 普通土	0.9	m ³			S0040-2
発生土処理							
	(現場→仮置場) 発生土運搬工	バックホウ山積0.28m ³ 4tDT, L≤1.0km	0.9	m ³			DID区間あり S0108-3D-2
舗装復旧工							
下層路盤							
	路盤工	RC-30, 仕上厚10cm	9	m ²			歩道又は施工幅の狭い車道, RC-30同等品以上 S2020-4
上層路盤							
	路盤工	Ms-25, 仕上厚10cm	9	m ²			歩道又は施工幅の狭い車道, Ms-25同等品以上 S2020-2
表層							
	舗装仮復旧工	仕上厚3cm	9	m ²			(再生合材, 密粒13mm) S2032

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
管路(道路舗装費)							
付帯工							
舗装復旧工							
不陸修正							
	上層路盤不陸修正	Ms-25, 補足材3cm	646	m ²			Ms-25同等品以上 S2002-2
	溶融式区画線						
	区画線工	溶融式, 手動 実線・セアラ, W=15cm	760	m			

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費(都市計画下水道建設費)							
直接工事費(下水道整備費)							
直接工事費(道路舗装費)							
直接工事費計							下水道工事②
共通仮設							
共通仮設費							補正率 市 街 地
運搬費							
仮設材運搬費							
	仮設材運搬工	軽量鋼矢板 L≤10km(往復)	6.7	t			都計 運搬費(往復)+積込取卸費
	仮設材運搬工	支保工 L≤10km(往復)	2.9	t			都計 運搬費(往復)+積込取卸費
建設機械運搬費							
	路面切削機運搬(往復)	積載重量28t 運搬距離L≤60km	1	回			都計 単価第47号
安全費							
交通整理員							
	交通誘導員B			人			都計 実日数×3人
	交通誘導員B			人			都計 実日数×5人
	交通誘導員B			人			整備 実日数×3人
	交通誘導員B			人			舗装 実日数×3人
	交通誘導員B			人			舗装 実日数×5人

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管理設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
役務費							
借地料							
	借地料		1	式			都計 単価第46号
技術管理費							
品質証明費							
	土質試験費		1	式			整備 単価第 45号
水圧試験費							
	通水試験	給水車による注水		日			都計 単価第 43号
(経費率対象金額)							
共通仮設費(率計上)			1	式			Kr= 補正
共通仮設費計							
純工事費							補正率 市 街 地
(経費率対象金額)							
現場管理費			1	式			Jo= 補正
工事原価							補正係数
(経費率対象金額)							
一般管理費			1	式			Gp= 補正
契約保証費			1	式		(当初設計金額)	
工事価格							

本 工 事 費 内 訳 表

津之郷・草戸幹線圧送管理設工事(20-1)

費目・工種など	名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
請負工事対象額							
消費税相当額							
請負工事費							
(都市計画下水道建設費)							
(下水道整備費)							
(道路舗装費)							

(別表 1)

軽量鋼矢板賃料算定表														
矢板長	工法別 締切 総延長	矢板別 締切 総延長	1回当り 締切 延長	使用 回数	補正率	修理費 及び 損耗費	供用日数	供用1日 当り 賃料	運搬費 使用数量	1回当り 締切 使用数量	賃料総額	水替日数	1式当り日数(打込)	
													12m当り日数(打込)	12m当り日数(建込)
L	L1	L2	L3	N	K	C	a	m	t	T	F		D1	D2
m	m	m	m	回		円/t	日	円/t	t	t	円	日	日	日
軽量鋼矢板打設(上段:都計 下段:整備)														
軽量鋼矢板建込(上段:都計 下段:整備)														
(都計) (整備) 1.50														
(都計) (整備) 2.00	565.600	565.600	12.000	47.1					(2.578)	(都計) 2.578		2.578		
(都計) (整備) 2.50	11.720	11.720	11.720	1.0					(3.147)	(都計) 3.147		3.147		
(都計) (整備) 3.00	2.930	2.930	2.930	1.0					(0.944)	(都計) 0.944		0.944		
(都計) (整備) 3.50														
(都計) (整備) 4.00														
(都計) (整備) 4.50														
(都計) (整備) 5.00														
都計合計									6.669					
整備合計														

m: (供用日当り賃料)

1~90日
91~180日円/t
円/t

T: (1回当り締切使用数量)=L×L3×2×0.0537

(別表 2)

土留支保賃料算定表

土留支保種別	工法別 締切 総延長	土留別 締切 総延長	1回当り 締切 延長 12m	使用 回数 L2/L3	補正率 K	修理費 及び 損耗費 C	工法別 供用日数 a	供用1日 当り 賃料 m	運搬費 使用数量 t	1回当り 締切 使用数量 T	賃料総額 F	1式当り日数(打設) 12m当り日数(建込) 供用日 D1
m	m	m	m	回		円/t	日	円/t	t	t	円	日
軽量鋼矢板打設(上段:都計 下段:整備)												
軽量鋼矢板建込(上段:都計 下段:整備)												
(都計) (整備) 腹起し H-150 1段 H-150×100×1	565.600	565.600	12.000	47.1					(0.746)			
									(都計) 0.746	0.746		
(都計) (整備) 腹起し H-150 2段 H-150×100×2												
(都計) (整備) 腹起し H-175 2段 H-175×100×2	14.650	14.650	12.000	1.2					(1.939)			
									(都計) 1.939	1.939		
(都計) (整備) 腹起し H-175 2段 H-175×100×2(伏越)												
(都計) (整備) 切梁 H-100 1段 H-150×100×1	565.600	565.600	12.000	47.1					(0.076)			
									(都計) 0.076	0.076		
(都計) (整備) 切梁 H-100 2段 H-150×100×2												
(都計) (整備) 切梁 H-100 2段 H-175×100×2	14.650	14.650	12.000	1.2					(0.142)			
									(都計) 0.142	0.142		
(都計) (整備) 切梁 H-100 2段 H-175×100×2(伏越)												
都計合計									2.903			
整備合計												

m: (供用日当り賃料)
1~90日
91~180日

円/t
円/t

T: 腹起し L3×2×段数×H型鋼の単位長さ重量
切梁 L3×2/3×段数×1本当り長さ×H型鋼の単位長さ重量

H-100 0.0169 H-150 0.0311
H-125 0.0236 H-175 0.0404
(t/m)

単価第 1号						
下水道用ダクタイル鋳鉄管						
本管 φ500mm 1 式 当り						
内面エポキシ粉体塗装						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
直管	S形3種 φ500mm×6m	60	本			
直管	KF形PF種 φ500mm×6m	3	本			
直管	S-KF形PF種 φ500mm×6m	10	本			
直管	KF-S形3種 φ500mm×6m	9	本			
切用管	KF-S形1種 φ500mm×6m	1	本			
切用管	KF-K形1種 φ500mm×6m	1	本			
切用管	S形1種 φ500mm×6m	2	本			
切用管	S形PF種 φ500mm×6m	1	本			
切用管	S-K形1種 φ500mm×6m	2	本			
切用管	KF-K形PF種 φ500mm×6m	1	本			
切用管	KF-S形PF種 φ500mm×6m	1	本			
残管処分	スクラップ控除	0.811	t			
合計						
単価						

単価第 2号						
下水道用ダクタイル鋳鉄管						
泥吐管 φ200mm 1 式 当り						
モルタルライニング						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
直管(切用管)	T-T形3種 φ200mm×5m	1	本			
残管処分	スクラップ控除	0.107	t			
合計						
単価						

単価第 3号						
鋳鉄管布設工						
吊込み据付(機械力) 1 m 当り						
φ500mm 10 m 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
トラックレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊		日			
合計						
単価						

単価第 4号 吊込み据付(機械力) 1 m 当り 鋳鉄管布設工 ϕ 200mm 10 m 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
クレーン装置付トラック運転	4t積, 2.9t吊		時間			(機-1) S9056
合計						
単価						

単価第 5号 バックウ山積0.28m ³ 1 m ³ 当り Co塊処分 4tDT, L \leq 12.0km 10 m ³ 当り算出 DID区間あり						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
Co塊(鉄筋)運搬工	バックホウ山積0.28m ³ 4tDT, L \leq 12.0km	10	m ³			DID区間あり S0108-3B-51
Co塊受入費	再資源化施設	10	m ³			
合計						
単価						

単価第 6号 切断・溝切り2工程 1 口 当り 鋳鉄管切断工(S形・KF形) パイプ切削・切断機・ ϕ 500mm						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員			人			
普通作業員			人			
機械損料	パイプ切削・切断機		日			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 7号 切断 1 口 当り 鋳鉄管切断工(T形) パイプ切削・切断機・ ϕ 200mm						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員			人			
普通作業員			人			
機械損料	パイプ切削・切断機		日			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 8号						
S継手挿口加工 φ500mm・リベット式 1 口 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 9号						
ホリエチレンスリーブ被覆工 φ500mm 1 m 当り 100 m 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
ホリエチレンスリーブ	L=7.5m	125	m			
固定具	固定用ゴムバンド	150	組			継手部 : 4 (組/箇所) 直部 : 1 (組/m)
合計						
単価						

単価第 10号						
ホリエチレンスリーブ被覆工 φ200mm 1 m 当り 100 m 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
ホリエチレンスリーブ	L=6.0m	120	m			
固定具	固定用ゴムバンド	160	組			継手部 : 4 (組/箇所) 直部 : 1 (組/m)
合計						
単価						

単価第 11号						
管明示テープ工 胴巻き4箇所/本・1回半巻き φ500mm・天端明示有り 1 m 当り 100 m 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員			人			
埋設管表示テープ	W=50mm 下水道用(茶色・黒文字)	266	m			
合計						
単価						

単価第 12号						
管明示テープ工		胴巻き4箇所/本・1回半巻き φ200mm・天端明示有り		1 m 当り 100 m 当り算出		
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員			人			
埋設管表示テープ	W=50mm 下水道用(茶色・黒文字)	183	m			
合計						
単価						

単価第 13号						
下水道用ダクタイル鋳鉄管異形管		本管φ500mm 内面エポキシ粉体塗装		1 式 当り		
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
曲管45°	KF形 φ500mm	22	個			
曲管22-1/2°	KF形 φ500mm	1	個			
曲管11-1/4°	KF形 φ500mm	2	個			
曲管5-5/8°	KF形 φ500mm	2	個			
フランジ付きT字管	RF形式 KF形 φ500mm×φ75mm	6	個			
排水T字管	KF形 φ500mm×φ200mm	1	個			
短管2号	KF形 φ500mm	2	個			
フランジ短管	RF形式 φ75mm×100L	4	本			
フランジ短管	RF形式 φ75mm×150L	1	本			
継輪	S形 φ500mm	5	個			
合計						
単価						

単価第 14号						
下水道用ダクタイル鋳鉄管異形管		泥吐管 φ200mm 内面エポキシ粉体塗装		1 式 当り		
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
曲管90°	T形 φ200mm	1	個			
短管2号	T形 φ200mm	1	個			
短管2号	S II 形 φ200mm	1	個			
合計						
単価						

単価第 15号						
ダクタイル鋳鉄管接合材料 本管 φ500mm						
1 式 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
接合材料	ホルトナットSUS304 S形 φ500mm	85	組			
接合材料	セットホルトSUS304 KF形 φ500mm	51	組			
接合材料	RF形式(7.5K) SUS304 フランジ形 φ75mm	11	組			
接合材料	RF形式(7.5K) SUS304 フランジ形 φ500mm	2	組			
挿し口リング	切管用 S形 φ500mm	11	組			
合計						
単価						

単価第 16号						
ダクタイル鋳鉄管接合材料 泥吐管 φ200mm						
1 式 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
接合材料	ホルトナットSUS304 7.5K S II型 φ200mm	1	組			
接合材料	ホルトナットSUS304 7.5K RF形式フランジ φ200mm	1	組			
接合材料	ホルトナットSUS304 7.5K GF形式フランジ φ200mm	1	組			
接合材料	T型 離脱防止継手 φ200mm	2	組			
合計						
単価						

単価第 17号						
幼ニカル継手工 S形・KF形 φ500mm						
1 口 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 18号						
1 口 当り						
幼ニカル継手工 S II 形 φ200mm						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 19号						
1 口 当り						
幼ニカル継手工 特殊押輪 K形 φ500mm						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 20号						
1 口 当り						
幼ニカル継手工 T形 離脱防止継手 φ200mm						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 21号						
1 口 当り						
幼ニカル継手工 栓 K形 φ500mm						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 22号						
フランジ継手工 7.5K φ75mm						
1 口 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 23号						
フランジ継手工 7.5K φ500mm						
1 口 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 24号						
フランジ継手工 7.5K φ200mm						
1 口 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
雑材料			%			
合計						
単価						

単価第 25号						
空気弁設置工 下水道用空気弁 φ75mm						
1 基 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	空気弁設置		人			
普通作業員	空気弁設置		人			
下水道用空気弁	内面エポキシ粉体塗装 φ75mm・キャップ式	1	基			
キャップ式補修弁	内面エポキシ粉体塗装 φ75mm×150L	1	基			
合計						
単価						

単価第 26号		下水道用偏心構造弁 手動式 φ500mm		1 基 当り				
名称		形状・寸法		数量	単位	単価	金額	備考
配管工					人			
普通作業員					人			
下水道用偏心構造弁(φ500mm)		内面エポキシ粉体塗装 キャップ式埋設型		1	基			
トラックレン賃料		油圧伸縮ジブ型 4.9t吊			日			
合計								
単価								

単価第 27号		泥吐管 φ200mm 外ねじ式内外面粉体塗装		1 基 当り				
名称		形状・寸法		数量	単位	単価	金額	備考
配管工					人			
普通作業員					人			
下水道用ソフトシール仕切弁(φ200mm)		φ200mm7.5k手動式 外ねじ式内外面粉体塗装		1	基			
クレーン装置付トラック運転		4t積, 2.9t吊			時間			(機-1) S9056
合計								
単価								

単価第 28号		空気弁(φ75mm) 内径φ900mm		1 箇所 当り				
名称		形状・寸法		数量	単位	単価	金額	備考
マンホール鉄ふた (下水道表示・市章入)		φ600 T-25.転落防止装置付		1	枚			
高さ調整部材		調整高25~75mm		1	個			
調整リング		H= 50mm, φ600		1	個			
斜壁ブロック		1号, H= 300mm		1	個			
連結直壁		1号, H= 300mm		1	個			
底版スラブ		2枚1組 700×1400×125		1	組			
底部工				1	箇所			単価第 31号
ブロック据付工(ふた・受枠含む)				1	箇所			単価第 32号
合計								
単価								

単価第 29号		偏心構造弁(φ500mm)		1 箇所 当り		
仕切弁室設置工		内径φ900mm				
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール鉄ふた (下水道表示・市章入)	φ600 T-25.転落防止装置付	1	枚			
高さ調整部材	調整高25~75mm	1	個			
調整リング	H= 50mm, φ600	1	個			
斜壁ブロック	1号, H= 300mm	1	個			
連結直壁	1号, H= 300mm	1	個			
底版スラブ	2枚1組 700×1400×125	1	組			
底部工		1	箇所			単価第 31号
ブロック据付工(ふた・受枠含む)		1	箇所			単価第 32号
合計						
単価						

単価第 30号		外ねじ式 仕切弁		1 箇所 当り		
仕切弁室設置工		円形φ350mm(2号)				
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
鉄ふた (レジンコンクリート製ボックス)	円形φ350mm(2号) T-25	1	組			
無収縮モルタル		0.004	m ³			
調整リング (レジンコンクリート製ボックス)	円形φ350mm(2号) K- 50H	2	個			
上部壁 (レジンコンクリート製ボックス)	円形φ350mm(2号) A-150H	1	個			
中部壁 (レジンコンクリート製ボックス)	円形φ350mm(2号) B-200H	2	個			
下部壁 (レジンコンクリート製ボックス)	円形φ350mm(2号) C-300H	1	個			
低版 (レジンコンクリート製ボックス)	円形φ350mm(2号) P- 40H	1	個			
普通作業員			人			
合計						
単価						

単価第 31号				1 箇所 当り		
底部工						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
碎石基礎工	再生クラッシュヤーン t=15cm	1.28	m ²			0.40*2*1.60=1.28 S0400-2-2
合計						
単価						

単価第 32号						
1 箇所 当り						
ブロック据付工(ふた・受枠含む)						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役			人			
特殊作業員			人			
普通作業員			人			
トラックレン賃料	油圧伸縮ジフ型 4.9t吊		日			
諸雑費		1	式			
合計						
単価						

単価第 33号						
1 m 当り						
管明示シート工						
2列表示 本管φ200・500mm						
100 m 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員			人			
埋設標識シート	W=150mm, 2倍折込 下水道管用(茶色・白文字)	200	m			
合計						
単価						

単価第 34号						
切梁・腹起し設置撤去						
バックホウ山積0.28m ³						
1 t 当り						
10 t 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役			人			
とび工			人			
普通作業員			人			
バックホウ賃料	山積0.28m ³		供用 日			排出ガス対策型
合計						
単価						

単価第 35号						
バックホウ山積0.28m ³						
H150×100×1						
1 m 当り						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工	切梁・腹起し設置撤去 バックホウ山積0.28m ³	0.069	t			単価第 34号
合計						
単価						

単価第 36号						
土留支保工						
バックホウ山積0.28m3 1 m 当り						
H175×100×2						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工	切梁・腹起し設置撤去 バックホウ山積0.28m3	0.173	t			単価第 34号
合計						
単価						

単価第 37号						
舗装仮復旧工						
再生粗粒度As 1 m ² 当り (再生合材)						
仕上厚5cm 100 m ² 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
粗粒度As	再生合材	12.6	t			
土木一般世話役			人			
特殊作業員			人			
普通作業員			人			
アスファルトフィニッシャ運転	ホイール型1.4～3.0m		日			土木(機-18) S9273-1
振動ローラ運転	(舗装工) コンバインド3～4t		日			土木(機-18) S9201-1
諸雑費		1	式			
合計						
単価						

単価第 38号						
排水性アスファルト舗装工						
車道及び路肩 1 m ² 当り 導水パイプの設置有り						
2.4m<施工幅 100 m ² 当り算出						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
排水性アスファルト混合物	高粘度改質アスファルト13mm	10.7	t			100 * 0.05 * 2.00 * (1+0.07)
アスファルト乳剤(ゴム入り)	PKR		kg			
土木一般世話役			人			
特殊作業員			人			
普通作業員			人			
アスファルトフィニッシャ運転	ホイール型2.4～6.0m		日			土木(機-18) 単価第 39号
マカダムローラ運転	(舗装工) 10～12t		日			土木(機-18) 単価第 40号
タイヤローラ運転	(舗装工) 8～20t		日			土木(機-18) 単価第 41号
諸雑費		1	式			
合計						
単価						

単価第 39号		1 日 当り			土木(機-18)	
アスファルトフィニッシャ運転		1 日 当り算出			排水性舗装	
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手			人			
軽油			リットル			
アスファルトフィニッシャ損料	ホイール型2.4~6.0m		供用日			(1003-021)
諸雑費		1	式			
合計						
単価						

単価第 40号		1 日 当り			土木(機-18)	
マカダムローラ運転		1 日 当り算出			排水性舗装	
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
軽油			リットル			
特殊運転手			人			
マカダムローラ損料	10~12t		供用日			排ガス1次基準 (0801-022)
諸雑費		1	式			
合計						
単価						

単価第 41号		1 日 当り			土木(機-18)	
タイヤローラ運転		1 日 当り算出			排水性舗装	
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
軽油			リットル			
特殊運転手			人			
タイヤローラ損料	8~20t		供用日			排ガス1次基準 (0802-022)
諸雑費		1	式			
合計						
単価						

単価第 42号		1 式 当り				
空気弁室防食塗装工		1 式 当り算出				
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール鉄ふた 防食仕様	φ600, T-14	6	枚			差額計上
空気弁室防食塗装工	日本下水道事業団標準仕様 C種・セラミック・厚3.0mm	13.02	m ²			
合計						
単価						

単価第 43号						
1 日 当り						
通水試験 給水車による注水						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
配管工			人			
普通作業員			人			
一般運転手			人			
器具損料及び諸雑費			%			
合計						
単価						

単価第 44号						
1 式 当り						
下水道用 びん管 φ500mm						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
継輪	K形 φ500mm	1	個	-	-	無代流用
栓	K形 φ500mm	2	個	-	-	無代流用
接合材料	(KF形栓用) K形 φ500mm	1	組			
接合材料	(K形栓用) K形 φ500mm	1	組			
接合材料	特殊押輪 K形 φ500mm	1	組			
合計						
単価						

単価第 45号						
1 式 当り						
土質試験費						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
変状土CBR試験	設計CBR, 2モ-ルト	1	試料			(JIS A 1211) 含水比試験含む
合計						
単価						

単価第46号						
1 式 当り						
借地料						
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
借地料			ヶ月			
合計						
単価						

単価第47号		積載重量28t		1 回 当り		
路面切削機運搬(往復)		運搬距離L≤60km				
名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
貨物自動車による運搬費(往路)	路面切削機 ホイール式2m級, 26.8t	1	回			
貨物自動車による運搬費(復路)	同上	1	回			
合計						
単価						

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市建設局下水道部建設第1課の発注する工事に適用する。

第2節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「改良土仕様書〔福山市建設局下水道部〕」、「平成17年度 下水道土木工事共通仕様書(案)〔(財)下水道新技術推進機構〕」、「平成16年度 広島県土木工事共通仕様書〔(財)広島県建設技術センター〕」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第3条に基づき、契約締結後14日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。

第3節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、請負者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、請負者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

第2章 施工

第1節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 止むを得ず作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

第2節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設配置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



新しい路上工事看板（工事中看板）

何の工事を何の目的で実施しているかをわかりやすく示す「**工事内容**」を表示します

（様式備考）

色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「円形管埋設工事（〇〇〇）」等の工事名については青地に白抜き文字とし、「下水道工を行っています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

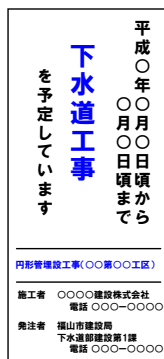
「**工事期間**」は、一目でわかるように、終了日のみを表示し、枠囲みや大きな文字で強調します

<様式の変更点>

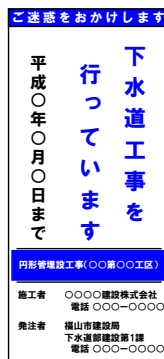
新しい路上工事看板では、目の前の路上工事に関する情報を道路利用者にわかりやすく提供するため、工事期間が一目でわかるように協調するとともに、「何の工事を」「何の目的で」実施しているのかわかるように表示する等の改善を行う。

工事内容を簡潔に説明した「**工事種別**」を表示します

7. 路上工事に関する情報を歩行者や工事現場周辺の住民に周知するため、工事情報看板及び工事説明看板を歩道部等に設置することとし、標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



（工事情報看板）



（工事説明看板）

（様式備考）

色彩は、「ご迷惑をおかけします」等のあいさつ文については青地に白抜き文字、「下水道工を行っています」等の工事内容については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

「工事情報看板」：路上工事の開始を事前に周知する場合に設置

予定されている下水道工事に関する情報を提供するため、下水道工を開始する約1週間前から開始するまでの間、工事内容、工事期間等を標示する工事情報看板を、下水道工が予定されている現場付近に設置するものとする。ただし、短期間に完了する軽易な工事等については、この限りではない。

「工事説明看板」：現在実施している工事に関する情報を提供する場合に設置

実施されている下水道工事に関する情報を提供するため、下水道工事開始から終了までの間、工事内容、工事期間等を標示する工事説明看板を、下水道工の現場付近に設置するものとする。

8. 「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとする。



(様式備考)

色彩は、文字については青色文字、矢印については赤色、地を白色とし、「まわり道〇m⇒」の地は白色スコッチライトとする。

第3節 交通誘導員

1. 交通誘導員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導員に対して、現場条件に関する教育等を行なうこと。
2. 交通誘導員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行なわない。また、工事实績の交通誘導員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
3. 交通誘導員Aとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
4. 交通誘導員Bとは、警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するものをいう。
5. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2007年3月23日広島県公安委員会告示第26号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導員Aを誘導日あたり1名以上配置すること。

第4節 現場管理

1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、請負者の責任により速やかに対処すること。
2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、請負者の責任により速やかに対処すること。
3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。

第5節 地下埋設物

1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。

第6節 水圧試験

1. 請負者は、配管完了後に試験水圧5.6kg/cm²を保持する水圧試験を行うこと。
2. 水圧試験の結果、継手より漏水した場合は、継手の全部を取外し十分清掃して接合をやり直し再度試験を行うこと。
3. 充水は、原則として管路の低い方から行うこと。この際、急激に充水すると管路内の空気圧の上昇で思わぬ事故を招くこともあるので、排気状態を確認しながら注意して充水すること。
4. 水圧試験は、管路内の残留空気を排除するために、充水後一昼夜程度経過してから行うこと。また、加圧に際しては、管路施設及び継手構造等に支障をおよぼさないよう十分な防護措置を講じること。
5. 水圧を所定時間保持させ、この間、管路の異常の有無及び圧力変化を記録すること。一般に管路の水圧試験の場合の圧力は、残留空気の存在・溶解、異形管部の微移動などの要因により、管路に漏えいがなくとも初期圧力から30%程度低下することもある。この場合、再度試験水圧を負荷し所定時間保持すること。保持する時間は監督員の指示によるものとする。

第7節 環境対策

1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
2. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。

第8節 工事用地

1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て請負者の責任と負担において確保すること。

第3章 材料

第1節 埋戻材（改良土）

1. 埋戻材に改良土を使用する場合は、福山市建設局下水道部の承認を得た再資源化施設の改良土を使用すること。また、使用にあたっては、「改良土仕様書」（福山市建設局下水道部）に基づいて行なうこと。
2. 工事完了時には、納品書及び試験結果等を提出すること。

第2節 登録リサイクル製品

1. 施工に際して必要となる資材等について、「広島県生活環境の保全等に関する条例」に基づき登録された製品（登録リサイクル製品）を使用することが可能である場合は、その使用に努めること。なお、改良土については、福山市建設局下水道部が承認した再資源化施設の改良土を使用すること。
2. 次表に該当するものは、登録リサイクル製品を使用すること。

再生加熱アスファルト混合物	再生粗粒度アスファルト混合物	(最大粒径 20mm)
	再生密粒度アスファルト混合物	(最大粒径 20mm)
	再生密粒度アスファルト混合物	(最大粒径 13mm)
	再生細粒度アスファルト混合物	(最大粒径 13mm)

3. 登録リサイクル製品を使用した場合は、登録番号と使用量を監督員に報告すること。

第3節 鋳鉄管

1. 本工事で使用する下水道用ダクタイル鋳鉄管及び接合部品は、JSWAS G-1(2003)規格によること。また、鋳鉄管の塗装に関してもこの規格の付属書2によること。
2. 鋳鉄管の切管は、挿し口部の面取り加工を行い、加工部は管の外周と同様の塗装を行うこと。
3. 本工事で使用するダクタイル鋳鉄管用ポリエチレンスリーブは、JWWA K-158(2005)規格に準じたものとする。
4. 請負者は、管の布設及び管の接合に関して豊富な実務経験と知識を有する熟練した技術者を配置し、設計図書及び「接合要領書」（日本ダクタイル鉄管協会）に基づいて誠実に施行すること。
5. 請負者は、配管作業及び接合作業を安全かつ確実にを行うため、「継手チェックシート」（日本ダクタイル鉄管協会）を使用し点検すること。
6. 埋設管の表示の方法は、「道路法施行令および道路法施行規則の一部改正に伴う水道管の布設について」に準拠し、表示テープによる胴巻き及び天端表示により行うものとする。また、表示テープの規格及び印字内容等については、監督員と協議して承諾を得ること。

第4節 弁室（マンホール）

1. 下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホールは、「福山市型鉄筋コンクリート製組立マンホール仕様書」に基づき製作され、本市が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A-11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
2. 下水道用鋳鉄製マンホールふたは、「福山市型鋳鉄製マンホールふた仕様書」に基づき製作され、本市が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G-4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鋳鉄製マンホールふた施工要領」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第5節 管明示シート

1. 請負者は、管の埋戻しに際して管の上部に次の文字を印字表示した管明示シートを布設すること。また、管明示シートは、埋戻し及び締固めを行った後、所定の位置に切れ目なく布設すること。

印刷表示（白文字）
下水道管注意
この下に下水道管あり注意，立会いを求めて下さい。

第6節 監督員の承諾

1. 本工事に使用する材料は、詳細仕様、使用計画及び供給業者について監督員の承諾を得ること。また、次に示す材料については、所定の様式（材料確認書）を提出し、監督員の確認を受けた後に使用すること。ただし、監督員の承認または指示を受けた場合は、請負者の検収によることができる。

ダクタイル鋳鉄管類，弁類，弁室類，その他

2. ダクタイル鋳鉄管類，弁類，その他監督員の指示を受けた材料は、工場検査記録等を提出して監督員の承諾を得ること。

第4章 建設副産物

第1節 建設発生土

1. 建設発生土は、福山市建設局下水道部が承認した再資源化施設へ搬出し再資源化すること。
2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、計量伝票を監督員に提出すること。
3. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、福山市建設局下水道部が承認した再資源化施設のうち、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第2節 建設汚泥（泥水）

1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 建設汚泥は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認，立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊，コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し，適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は，広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が，廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては，許可看板と処分状況が確認できるよう，写真撮影を行なうとともに，伝票等を提出すること。また，必要に応じて現地確認，立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は，広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って，正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第4節 建設副産物システムへの登録

建設副産物情報交換システム（（財）日本建設情報総合センター）の登録対象工事の場合は，施工計画時，工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うこと。

また，「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」について，当該システムにより作成を行い，提出すること。工事完了時には，「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を提出すること。

第5節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
建設発生土について，500m³以上（一時たい積場については500m³/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは，「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号，以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき，土砂の搬出に係る計画を定め，当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時たい積場については，当該計画に係る月の初日の10日前）までに，知事へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て，盛土，たい積）
建設発生土について，事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m²以上となる土砂の埋立行為を行う場合は，土砂埋立区域ごとに知事の許可を受けなければならない。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項，または，疑義が生じた場合は，その都度，速やかに監督員と協議を行なうこと。

施 工 条 件 表

対象工事名 : 津之郷・草戸幹線圧送管埋設工事(20-1)

項目	事 項	該 当	内 容			
① 計 画 準 備 関 係	施工計画書等の提出	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。			
		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。			
	変更図面の作成	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。			
	取付管の復旧	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	取付管の復旧にあたっては、その利用者に工事内容等に関して十分に説明し、施工すること。			
	誓約書の提出	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市水道局に提出する誓約書（誓約業者）は、福山市指定給水装置工事事業者とする。			
	協議	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。			
			関係機関	事項	協議の内容	備考
			関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など	
			沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態	
			その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明	
段階確認	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。				
	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし					

項目	事項	該当		内容				
② 工程関係	工事期間	●あり	○なし	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、検査期間は14日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。				
				<input checked="" type="checkbox"/> 準備期間	<input checked="" type="checkbox"/> 試掘期間	<input checked="" type="checkbox"/> 建物等調査期間	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事施工期間	<input checked="" type="checkbox"/> 変更協議期間
		<input checked="" type="checkbox"/> 後片付け期間	<input checked="" type="checkbox"/> 検査期間	<input checked="" type="checkbox"/> 水道管移設期間	<input type="checkbox"/> ガス管移設期間	<input type="checkbox"/>		
	関連する別途工事	○あり	●なし	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。				
関連工事の名称				発注者名	予定期間	備考		
③ 用地関係	借地	●あり	○なし	次のとおり、借地を見込んでいる。				
				場所	目的	面積	使用後の処置	備考
	工事現場より1km以内	工事発生土の仮置	200 m ²	原形復旧				
工事用地	○あり	●なし	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。					
			場所	面積	協議内容	完了見込時期	備考	

項目	事項	該当		内容				
④ 周辺環境保全関係	建設公害の処置	●あり	○なし	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。				
				項目	処理方法	備考		
				建設機械（全般）	排ガス対策型（第1次基準値）の使用			
	建物等の調査	●あり	○なし	一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。				
				調査内容	調査項目	数量	備考	
				建物等調査	事前調査	8件	発注者の調査	
	井戸の調査及びその他の調査等	○あり	●なし	一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。				
調査内容				調査項目	数量	備考		
六価クロム溶出試験の実施	○あり	●なし	次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。 試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。 なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。					
			場所	工種	配合設計段階検体数	施工後段階検体数	工法	備考
			合計		検体			
濁水・湧水の処理	●あり	○なし	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。					
	○あり	●なし						

項目	事項	該当		内容				
⑤ 安全対策関係	交通誘導員	●あり	○なし	交通誘導員の配置人員は、次のとおり配置すること。 交通誘導員の積上げ人数は、次のとおり込んでいる。				
				工種	種別	配置人員	その他	備考
				管渠工他	舗装取壊し、表層以外	3 人/日		都計分
				付帯工	路面切削、舗装取壊し、表層	5 人/日		都計分
				管渠工他	舗装取壊し、表層以外	3 人/日		整備分
				付帯工	不陸整正以外	3 人/日		舗装分
				付帯工	不陸整正	5 人/日		舗装分
	合計		交通誘導員A	— 人				
			交通誘導員B	464 人				
	近接施工	●あり	○なし	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。				
場所				近接する施設	条件	備考		
開削工				水道管	近接箇所の人力掘削			
開削工	ガス管	近接箇所の人力掘削						
作業時間内の埋戻復旧	●あり	○なし	作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日を実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。					
	○あり	●なし						
⑥ 埋戻材料	改良土	○あり	●なし	埋戻土は、改良土を使用すること。				
	流用土（現場内流用）	●あり	○なし	埋戻土は、現場発生土の一部を流用することとしている。				
	流用土（他工事流用）	○あり	●なし	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難しい場合は、別途、協議すること。				
				他工事名	搬入場所	搬入時期	備考	
真砂土	○あり	●なし	埋戻土は、真砂土（購入）を使用すること。					
	○あり	●なし						

項目	事項	該当		内容			
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	●あり	○なし	建設発生土は、次の運搬先を見込んでいる。			
				種別	搬出場所	運搬距離	備考
				発生土	福山市神村町字草刈3778番地の1他21筆	仕様書のとおり	
	建設汚泥（泥土）	○あり	●なし	建設汚泥（泥土）は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し適正に処理しなければならない。また、福山市建設局下水道部が承認した再資源化施設へ搬出し再資源化すること。 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。 また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、福山市建設局下水道部が承認した再資源化施設のうち、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。			
				種別	搬出場所	運搬距離	備考
	建設汚泥（泥水）	○あり	●なし	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。			
				種別	搬出場所	運搬距離	備考
	特定建設資材の廃棄物	●あり	○なし	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。			
種別				搬出場所	運搬距離	備考	
アスファルト・コンクリート殻				福山市本郷町字山ノ中2114	仕様書のとおり		
建設副産物情報交換システム	●あり	○なし	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。				
広島県土砂の適正処理に関する条例	●あり	○なし	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。				
	○あり	●なし					

項目	事項	該当		内容				
⑧ 仮設関係	土留	●あり	○なし	次のとおり、土留を見込んでいる。				
				場所	工法		土留種別	備考
				開削工（一般部）	軽量鋼矢板建込工		軽量鋼矢板Ⅲ型	
	仮設(土留)材料の残置	○あり	●なし	次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。				
				場所	仮設材料名	残置の形態	数量	備考
	路面覆工	○あり	●なし	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。				
				場所	覆工幅	覆工延長	仕様	備考
覆工材料の残置	○あり	●なし	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。					
			場所	仕様	数量	付属部材	備考	
水替	●あり	○なし	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。					
仮設電力設備	●あり	○なし	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。					
			場所	設備の種類			備考	
			開削水替工	<input checked="" type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電		
				<input type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電		
一般搬入道路	●あり	○なし	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
			搬入道路	期間	時間	工事中・後の処置	備考	
			全ての道路	工事期間	8時～17時	随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修	処置は使用に伴い影響があった場合	
仮設道路	○あり	●なし	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
			期間	安全施設	使用中の処置	使用後の処置	備考	
仮設铸铁管	●あり	○なし	水圧試験時に使用するK形φ500mmの栓（2個）、継ぎ輪（1個）は流用としている。					

項目	事項	該当		内容				
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	●あり	○なし	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。				
				場所	確認物件	方法		備考
				開削部	水道	掘削確認（管理者の立会）		
				開削部	ガス	掘削確認（管理者の立会）		
	本工事に含まれる移設工事	○あり	●なし	本工事では、次の移設工事を含んでいる。				
				場所	移設物件	移設の形態		備考
	工事支障物件	●あり	○なし	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。				
				場所	支障物件	内容		備考
				開削部	ガス管	試験掘等を実施し別途協議		
開削部				水道管	試験掘等を実施し別途協議			
	○あり	●なし						
⑩ 地盤改良・推進関係	薬液注入	○あり	●なし	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。				
				場所	数量・区分等	工法	プラント	備考
	推進工法	○あり	●なし	次のとおり、推進工法を見込んでいる。				
区間				工法	備考			
	○あり	●なし						

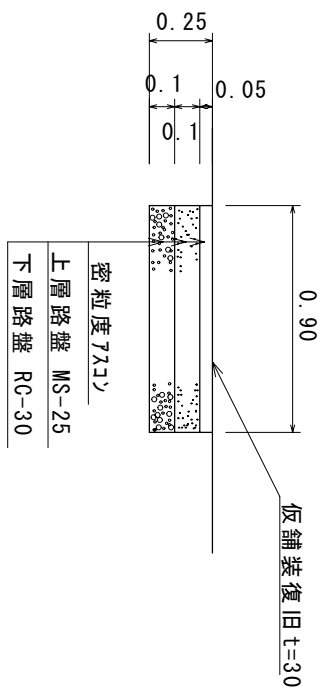
項目	事 項	該 当		内 容
⑪ そ の 他	取付ますの請求額	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	設置した取付ますについて、材料費等を含めた設置費用として、設置依頼者等に対して請求する額は、 <u>¥16,000円(消費税を含む)</u> としている。
	その他の図面	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	福山市建設局下水道部の「福山市下水道構造標準図」(2007年4月1日改訂版)に基づき、適切に実施すること。
	マンホール及び取付管の位置調査	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	工事の完了に伴い、「マンホール及び取付管の位置調査」の記載要領に基づき、マンホール及び取付管の位置を記入した図面を作成し、提出すること。
	工事完成のお知らせ	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」(別途、参考様式有り)を配布すること。
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し		

下水取付け管復旧図

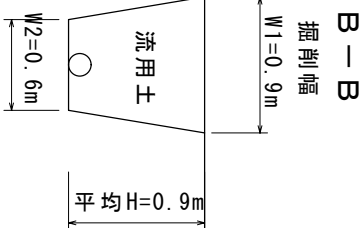
取付管埋設平面図 S=1/50

(20-1工区)
(一般市道標準)

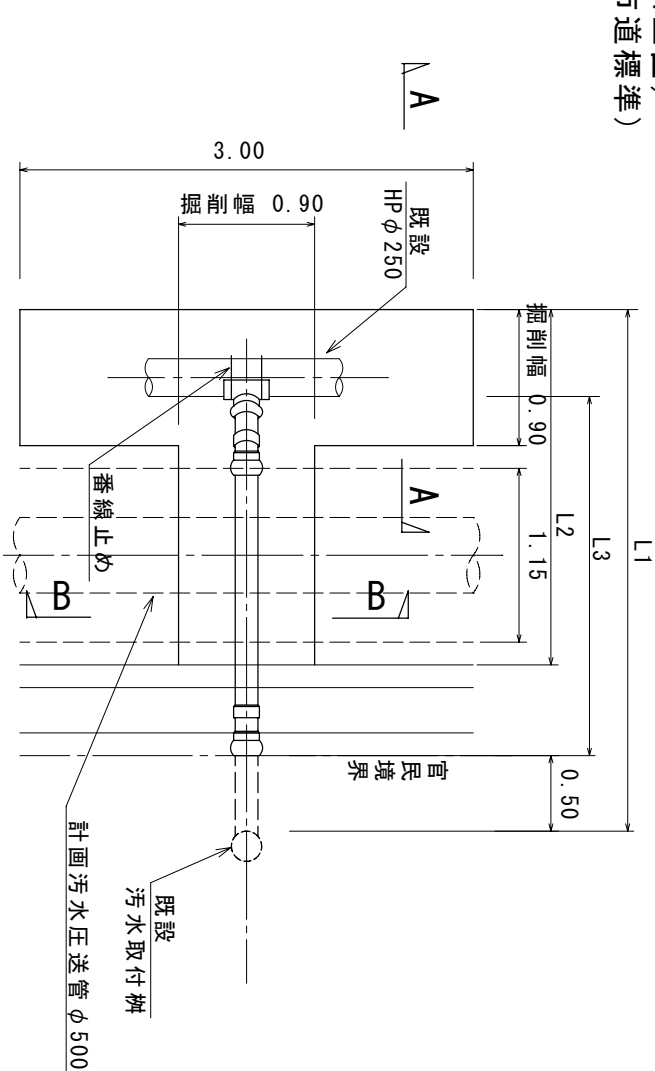
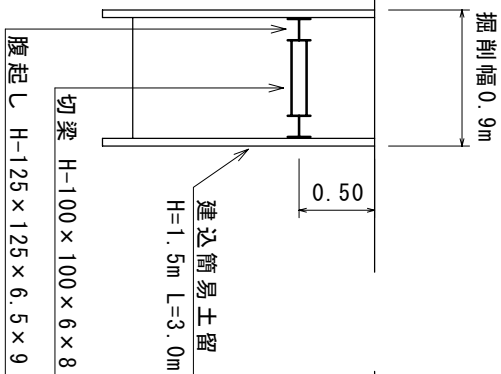
舗装復旧断面図



管埋設断面図



板設図



取付管埋設縦断面図 S=1/50

